

議 事 録

名 称	平成30年度第1回深川市総合教育会議
開催日時	平成31年1月30日(水) 開会 午前10時/閉会 午前10時50分
場 所	深川市役所 市議会第1委員会室
議 題	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議題 (1) 深川市教育大綱の改定(案)について (2) コミュニティスクールについて (3) 全国学力学習状況調査について 4. その他
出席委員	山下市長 早川教育長 宮田教育委員 定岡教育委員 轡田教育委員 倉本教育委員
欠席委員	なし
説 明 員	荒井教育部長 江刺学務課長 荒井生涯学習スポーツ課長 伊藤学務課長補佐 上田学務課長補佐
事 務 局	吉村企画総務部長 三浦企画財政課長 南茂企画財政課長補佐 鈴田企画係主査

会議の概要(発言の趣旨)	
発言者	議題・発言・結果等
吉村部長	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまから、平成30年度第1回目となります深川市総合教育会議を始めさせていただきます。私は、事務局を担当しております企画総務部長の吉村でございます。どうぞよろしくお願い致します。議事に入るまでの間、進行役を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、最初に山下市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
山下市長	<p>時節柄お忙しいなか、お集まり頂きましてありがとうございます。</p> <p>深川市総合教育会議は、繰り返しになるかもしれませんが、平成27年に「地方教育組織及び運営に関する法律」の改正法案が成立致しまして、全ての地方自治体に総合教育会議というものが設置されたわけでございます。</p> <p>深川市におきましても、平成27年に本会議を設置して1回目の会議を開きました。この教育会議において今まで深川市教育大綱の策定をはじめ様々な教育に関することについて議論を交わしていただけてきております。</p> <p>今日は、深川市の将来を担う児童・生徒が豊かな心と生きていく力を身につけられるような活発な議論をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
吉村部長	<p>ありがとうございました。それでは、「深川市総合教育会議運営要綱」の規定により、これからは山下市長が議長として進行させていただきます。</p>
山下市長	<p>それでは私が進行役として会議の進行をさせていただきます。この会議では、活発に自由に発言して頂ければありがたいと思います。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>それではレジュメに従いまして、議論を始めたいと思います。 議題1「深川市教育大綱の改定について」を議題といたします。三浦企画財政課長お願いします。</p>
三浦課長	<p>私から教育大綱の改定についてご説明申し上げます。 お手元の資料1をご覧頂きたいと思います。1枚目は改定後の教育大綱案でございます。2枚目は新旧の大綱を並べて掲載しておりますが、左側の「新」は1枚目と同じ内容でございます。まずは右側の「旧」の大綱をご覧いただきながら説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>この教育大綱は、平成27年に改定されました「地方教育組織及び運営に関する法律」に基づきまして、地方公共団体の長が定めるとされていまして、さらに、この法律には大綱の策定や変更にあたっては、あらかじめ総合教育会議において協議すると規定されております。</p> <p>現在の教育大綱は、平成27年12開催の深川市総合教育会議においてご協議をいただきまして、パブリックコメントを経て平成28年1月に策定したものでございます。</p> <p>資料の右下の「2.大綱期間」に書かれておりますように、この大綱の対象期間は、平成27年度から平成30年度までとなっております。本年度で対象期間が終了することから、本日大綱の改定を議題として協議頂くものでございます。</p> <p>改めて基本理念を読み上げさせていただきます。</p> <p>一つ目は、子どもたちの「生きる力」と「確かな学力」、「健やかな体」を涵養し、自らの力で未来を拓いていける人を育てる。</p> <p>二つ目に、郷土ふかがわの歴史、文化に誇りと愛着をもち、互いに慈しみあう「豊かな心」を持つ子どもを育てる。</p> <p>三つ目に、子どもから高齢者まで、市民誰もが生涯にわたり学ぶことができる学習環境の充実を図る。</p> <p>四つ目に、スポーツや芸術・文化に親しむ機会を通じて、市民の健康づくりと感動する心を醸成する、でございます。</p> <p>そこで、教育大綱の改正の考え方についてでございますが、ご覧のとおり、本市の教育大綱は基本理念を定めているものでありまして、具体的な取り組みにつきましては、深川市教育委員会が定めております「学校教育振興計画」、「社会教育中期計画」、「スポーツ振興計画」などに委ねております。</p> <p>これらの計画は、大綱を策定しました平成28年1月以降に、それぞれ改定されておりますけれども、いずれも大綱の基本理念を受け継いでいるものと考えております。</p> <p>さらに、国の「第3期教育振興基本計画」が平成30年6月に、「北海道教育推進計画」が平成30年3月に、それぞれ改定されておりますけれども、国や道の計画においても本市の教育大綱の基本理念に影響するような記述は見受けられませんでした。</p> <p>従いまして、平成28年1月に策定いたしました深川市教育大綱の基本理念は変えず、計画期間を4年間延長させていただこうとするものでございます。</p> <p>ただし、下部に記載しております大綱の位置付け及び大綱の期間の補足説明につきましては、若干の文言修正をさせていただき、資料左側の「新」に記載のとおり見直しさせていただきたいと思っております。</p> <p>本日ご協議いただきましたのち、今後のスケジュールについてですが、本来であればパブリックコメントを実施するところではございますが、本日ご協議いただいた結果、このままでいいということになりましたら、変更ということには当たりませんので、パブリックコメントについては、実施しない方向で調整させていただきます。</p> <p>なお、新元号の公表が4月1日と、目前に控えておりますので、できれば新元号を掲載して策定したいと考えております。</p> <p>従いまして、パブリックコメント後の正式な公表は、本年4月以降とさせていただきと考えております。</p> <p>以上、深川市教育大綱の改定についての説明とさせていただきます。</p>
山下市長	<p>これに対しまして各委員からそれぞれ意見をお伺いしたいと思いますが、その前に事務的なことではあります。教育大綱の下の方にあります平成31年□月となっておりますが、こ</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	こも変わるといことですか。4月であれば新元号を書き込むことができる、そういう理解でよろしいですか。
三浦課長	その通りです。
山下市長	宮田委員さんお願いします。
宮田委員	概ね理解しました。中身的にはこれでよろしいかと思ひます。
山下市長	嚮田委員さんお願いします。
嚮田委員	基本理念の変更がないことに異議ありません。4つの基本理念の内容についても賛成です。
山下市長	倉本委員さんお願いします。
倉本委員	そのままでよろしいかと思ひますけれども、市民にも公表されるということであれば、「涵養」という言葉の意味が難しく、市民には難しいのではないかと思ひます。下に注釈を入れるなどした方が良ひのかなと思ひました。
山下市長	確かに言葉の意味は難しく、「涵養」という言葉は格調高いもので用ひたい言葉でありますので、引き続きの課題にさせていただきます。続きまして、定岡委員お願いします。
定岡委員	基本理念に変更無しということ、意義はございません。
山下市長	それでは最後に、早川教育長お願いします。
早川教育長	基本理念については、そのままでよろしいかと思ひます。
山下市長	内容については、異論はないということでした。今回の改正において、基本部分は変わりませんが、下の注釈部分の期間などについてはこの内容で進めて行きたいと思ひますので、ご協力お願いします。これで1番目の議題については終わりました。次に2番目「コミュニティスクールについて」を議題とさせていただきます。江刺学務課長からお願いします。
江刺学務課長	<p>コミュニティスクールについてご説明申し上げます。</p> <p>本市が導入を準備しておりますコミュニティスクールにつきまして、資料2をご覧ください。</p> <p>この制度は、地域住民等が学校運営に参画する組織として、学校ごとに学校運営協議会を設置し、学校を応援するという仕組みでございます。熟議、話し合いにより、地域の子もたちの課題や目標などを共有し、自分たちにどのようなことができるかという視点で、地域の皆さんに主体的に学校の教育活動に参画していただき、学校と地域が一体となって子どもたちを育てる取り組みでございます。</p> <p>導入の背景と致しまして、昨今の地域社会での繋がり希薄化、また、家庭教育の充実の必要性が指摘され、地域の教育も充実が必要だという認識がございます。さらに、学校の掲げる課題が複雑化・困難化する中、社会総がかりで対応する必要があるのではないかと背景がございます。</p> <p>従来、コミュニティスクールの導入は任意でありましたが、平成29年4月から努力義務化されたところであり、本市におきましても資料の導入方針のとおり、平成32年度までに全ての小中学校で導入するよう進めているところでございます。</p> <p>コミュニティスクールでは、これまで学校・PTA・地域の皆さんとの関りの中で、学校行事への支援や地域的な取り組みをいただいたものをベースにしながら、これらを取り組むとして位置づけ、発展させていこうというものでございます。</p> <p>運営協議会の委員構成は、現行の学校評議員が委員に移行することを基本にPTA役員、校長他学校職員、その他にも学校の状況に応じて選任可能としまして、また、教育委員会からは、新たに検討しております地域学校協働活動推進委員が参加することを見込んでいます。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>2ページをご覧ください。取り組みの計画でございますが、平成30年度は、深川小学校と北新小学校の2校で先進校として準備を進め、平成31年度に導入、残り6校は、先進校の取り組みを参考にしながら、平成32年度に導入という流れで進める予定でございます。</p> <p>また、その先の取り組みといたしましては、現状学校統合により大きくなりました中学校の校区内に、複数の小学校が存在している状況ですので、小学校と中学校の連携を踏まえた中学校単位での連絡・組織づくりが想定されるものでございます。</p> <p>資料の3ページ以降は、北海道教育委員会から出されております導入のステップをまとめたものになっておりますので、参考にご覧いただければと思います。</p> <p>以上、説明とさせていただきます。</p>
山下市長	<p>方針について説明がありました。何かご意見などありましたらご発言願います。こちらについても各委員お1人ずつお願いします。</p> <p>宮田委員お願いします</p>
宮田委員	<p>昨年あたりから、このコミュニティスクールというのは、会議の中でも話は出てきておりまして、全道的にも進んできているものと思います。</p> <p>資料などを読ませてもらっている中で、1つ心配ごとがあります。</p> <p>P T Aと地域との話し合いも出てきますので、何かルールを作らないといけないのではないかと考えております。コミュニティスクールの根本である地域・保護者が一体となって子ども達を育てていくということについては賛成ですが、先生方は大変忙しいという部分もありますので、最終的には校長が責任者となるのだと思いますが、心配だなと感じています。</p>
山下市長	<p>次に定岡委員お願いします。</p>
定岡委員	<p>私から一つ意見を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>2ページ目の下段、私が一番重要だと思うのは、深川中学校区学校運営協議会並びに同じく一巳中学校区学校運営協議会はつくって終わりではなく、つくってからどう生かすかということを考えていかなければならないと思っています。</p> <p>この運営協議会が活発になれば、私は施設分離型の小中一貫校という形が深川市として見えてくるのではないかと思います。</p> <p>今、深川市の小中の連携は十分ではないという保護者からの意見をかなり頂いています。私も同じ評価であります。</p> <p>国の指針や一貫校のデメリットもあろうかと思っています。運営は大変だと思います。</p> <p>ただし、その反面メリットは、先取り学習における学力向上であったり、中学生になっての不登校、いわゆる「中1ギャップ」を防げるなどあろうかと思っていますので、この協議会を設立して小中の連携をより活発に、もちろん今されているのはわかっていますが、より活発に運営していただくということを私は望みます。以上です。</p>
山下市長	<p>それでは轡田委員お願いします。</p>
轡田委員	<p>現在、深川市内の学区評議委員に加えて、地域の町内会長だったり、すきやき隊、交通安全指導員など様々な方が関わっていますが、入学式あるいは卒業式に出席して下さっていて、今度はP T Aの方々と地域の方々が、一緒に色々な話し合いをしていくという形が少しずつ見えてきていると捉えております。</p> <p>外部から学校教育に携わる中で、果たして、どの辺までイニシアチブを取って地域教育に関わっていくということを考えると、勉強をしたり、説明をいただく場が必要ではないかと思っています。ただ集まっても、何をしたらよいのだろうという疑問が出てくるのではないかと考えています。</p> <p>授業ではなく社会性の部分でどういう動きをしたらよいかと、私の中では漠然としている部分もありますので、少子化の中で少人数で厳しい状況の学校もございますので、近い将来、1校だけではなくて同じようになるのではないかと考えていますが、一つは大きな深川小学校、一つは少人数の北新小学校なので、モデルケースとしては違った面のコミュニティスクールになるのではないかと考えています。</p> <p>その辺のことも少し心配しておりますので、コミュニティスクールの現状というものを勉強する機会がたくさんあっても良いと思います。以上です。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
山下市長	倉本委員、お願いします。
倉本委員	<p>コミュニティスクールは、子ども達をみんなで応援していくものという形で考えておりますが、少子化の中で親御さんたちも関わっていただけるかということを考えると、今の親御さんは、仕事が忙しく核家族ということもあり、全部自分で背負わないといけないなど、色々なストレスを抱えて生活していると思うのです。</p> <p>連携を1人1人に行っていくというわけにはいかないかもしれませんが、家庭の中での虐待や、小学生から中学生になるときに不登校になりやすいなどの問題もありますので、その辺のサポートを必要とする方々と連携を密にとりいただく制度を一層充実していただけたら良いと思います。</p>
山下市長	早川教育長、お願いします。
早川教育長	<p>深川市においては、それぞれの地域の皆さんが相当各学校に関わって頂いて、お力添え頂きながら様々な事業を進めて頂いています。</p> <p>たまたま平成29年4月から名前としてコミュニティスクールになっていますけれども、何か組織をつくるということではなくて、今実際に教育に携わって頂いている様々な所を網羅して組織づくりをしていきたいところでございます。</p> <p>そして、深川中学校区と一巳中学校区には、それぞれ複数小学校がある中で、先ほど皆さんからお話がありましたように例えば学区、あるいは学校間の連携を踏まえると、やはりコミュニティスクールの組織を通じながら、小学校の子ども達の交流を深めることによって、中学校にあがるときに学校で見ていきたいところですし、また、この事業についてはモデル校があり、皆さんからご意見があったように、どこまでという懸念はモデル校の中で十分に見ていき、お互いの共通認識としてつくり上げていく必要があると思っております。</p> <p>いずれにしても組織をつくれればいいということではなく、子ども達によって交流を深めて、小学校同士の連携、小学校と中学校の連携、ひいては深川市全体の小学生・中学生の学習環境も含めたことに役立てて行きたいと思っている次第です。</p>
山下市長	最後は、全国学力学習状況調査について、江刺学務課長お願いします。
江刺学務課長	<p>全国学力学習状況調査についてご説明します。</p> <p>資料3をご覧ください。</p> <p>全国学力学習状況調査は、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るものとし、小学校6年生と中学校3年生を対象に、毎年度実施しているものでございます。</p> <p>本年度は、国語と算数・数学の2教科においては、主として知識力を問うA調査及び活用力を問うB調査を実施し、これに理科を加えた3教科が実施されたところです。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>深川市の小学生の平均正答率は、国語Bで全国を上回り、国語A及び算数Aではほぼ同程度、算数B及び理科ではやや下回る結果となりました。</p> <p>また、深川市の中学生の平均正答率は、理科では全国と同程度となったものの、国語A・Bでは全国を若干下回るとともに数学A・Bでは、全国と差が開いた状況でございます。</p> <p>3・4ページになりますが、同時に行われた学習状況調査では、学校の授業以外に一日当たり一時間以上学習すると答えた小学生及び中学生は全国平均を下回りましたが、小学生では、家庭学習に主体的に取り組む児童数は全国を上回る状況となっております。</p> <p>次に5ページをご覧ください。</p> <p>調査結果を受けまして、目標と致しましては、既習事項の確実な定着を図ることや、学校全体で調査結果を分析し、課題・目標を明確にして具体的な授業改善に努めることなどとし、市全体の取り組みとしては、小学校の長期休業中の学習サポート・チャレンジ深川や小学校、中学校の放課後学習サポートの実施、また、各学校では学校毎の改善プランを作成して年間計画に位置づけ、授業改善及び児童・生徒理解に努めると共に、保護者・地域に周知・啓発し、児童・生徒の育成を図る体制を構築するなどとしているものでございます。説明は以上です。</p>
山下市長	感想・コメントを1人ずつ述べていただきたいと思います。宮田委員お願いします。

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
宮田委員	<p>市内の子ども達は頑張っているというのが第一です。 ただ数字には出ていませんが、深川と一巳の数字に多少開きがあると思います。 これは少し残念です。また、数字の良い地区は過去の問題をやらせるなど工夫していると聞いています。 市内の学校もこういったことを取り入れても良いのかなというのが個人的な感想です。</p>
山下市長	定岡委員お願いします
定岡委員	<p>学力向上に必要なことはシンプルですが勉強することだ思っております。 ただ、アンケートの3・4ページの13の14番目にあるとおり、家で勉強しない子が多い。ではどうサポートできるのかというと、多度志小学校以外の小学校の放課後学習サポートはやっていただいております。また、中学校の学習サポートも実施していただいております。 このサポート体制をより充実させていくことが学力の向上に繋がるのではないだろうかと思っております。 現状は、小学校の方も十分だとは私は思っておりません。教科が限られていたり、音江は参加する生徒が少ないということで、サポートは行っていないと聞いております。 また、中学校の方も現状中学3年生のみが対象で、中体連終了後というごく限られた生徒・期間だと思っておりますので、そのようなサポート体制を地域の住民とどんどん行って頂ければと考えております。以上です。</p>
山下市長	それでは轡田委員お願いします。
轡田委員	<p>私も小学校・中学校に孫がいますが、チャレンジ深川では放課後学習サポートの体制を充実させていると、ただ、学年によって集中して人数が多い年とチャレンジ深川に行くのを嫌う割合が多い年が顕著に表れていると感じます。 ですが、チャレンジ深川や放課後学習サポートによって、格差が少しずつなくなっていると、それは子ども達が頑張っているからだと思います。 深川中学校・一巳中学校の間では格差が出ているのではないかという懸念もありますが、学校訪問でも校長先生が申し上げましたけれども、できるだけ小学校・中学校の色々な交流を進めていただきたいですし、そこへいくのに少しでも学力が向上するように意識を持ち、また、そういうサポートに対して参加するという意識を高めていくような方法がないか、それをコミュニティスクールの中で盛り上げていただくと効率的な学習の向上が望めるのではないかと思います。以上です。</p>
山下市長	倉本委員、お願いします。
倉本委員	<p>子ども達が勉強に興味がわくと楽しさも覚えると思います。 データを見ると個室でやるよりも、自宅の茶の間でお母さんが食事の支度をしている最中にテーブルで勉強している子の方が学力が向上したというデータもありますが、これは親が見ていられるかそうじゃないかによって違うと思います。 学習サポートということで、深川市では力を入れて頂いておりますが、やはり色々な子ども達に平等に勉強するチャンスを与えるということが大事で、家庭でやるのはもちろんですが、そのような環境にない子も学校に残って色々な人のサポートがあって、勉強が楽しいなと思えるような工夫を学習サポートの中でして欲しいと思います。勉強を楽しめるチャンスを与えてあげて欲しいです。以上です。</p>
山下市長	教育長、お願いします。
早川教育長	<p>現在、深川市と全国あるいは北海道との差は、直接の数字ではないもので表してきた結果で、これは当時の様々な事情によるものですが、平成30年度の全国の状況はホームページ等に載っています。 実際に数字で市の平均回答率を公表しております。 そういったことについても教育委員会の皆様と議論をして行きたいと考えておりますし、また、中学校の学習サポートのあり方や、チャレンジ深川の参加率は50%を超えてはいるのですが、放課後サポートのあり方も含めて議論をさせていただき、新年度に向かって少しでも前進させる取り組みを委員の皆さんと論議していきたいという考えでございます。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
山下市長	<p>今のお話はそれぞれ大事なポイントだったと思います。</p> <p>これは、今後しっかり受け止めて、学習サポートについてもより一層議論を用いて是非頑張ってもらいたいというのが私の最後のコメントです。</p> <p>それでは予定をしておりました議会はこれで終わりでございます。</p> <p>4番目「その他」を用意しております。その他ということで事務局あるいは教育委員会から何かございましたらお願いします。</p>
	（宮田委員より発言の申し出あり）
山下市長	宮田委員、どうぞ。
宮田委員	<p>今年に入ってからの方針ですが、道内の学童保育の待機のごことは北海道新聞にもありましたが、深川にも3名の待機児童がいます。</p> <p>問題はそこではなく、学童のお世話をする人が少なく待遇も悪いということがその新聞の記事に出ておりました。</p> <p>この辺は、教育委員会の領域ではないのですが、現状はどうなっているのか色々な人に聞いてみようかと思っているのです。</p> <p>いずれは小学校・中学校にあがることを考えると、今のうちから目を配っていくことが行政の役割ではないかと思ひまして手を挙げさせて頂きました。</p>
山下市長	深川市も学童保育に力を入れていますが、待機児童については迂闊にも知らずにいたので、事実確認をした上で、宮田委員の質問にもお答えしたいと思っております。
宮田委員	ありがとうございます
山下市長	では他にございますか
	（特になし）
山下市長	以上を持ちまして総合教育会議を終了させて頂きます。お忙しいところありがとうございました。